

2016 年度
(第 2 期)
事業計画書

自 2016 年 1 月 1 日
至 2016 年 12 月 31 日

公益財団法人 杉浦記念財団

2016年度事業計画書

当財団は、2015年6月までは一般財団法人として活動してまいりましたが、同年7月1日に公益財団法人に認定されました。

従いまして、今年度は財団設立通算では6期目、公益財団法人杉浦記念財団としては2期目の事業計画書となります。

1. 今年度の事業の柱

事業の柱としては、以下の4つを掲げます。

(1) 助成、褒賞事業（公1）

地域医療の振興に関わる活動等に対する助成と褒賞（定款第4条第1項第1号）

「杉浦地域医療振興助成」、「杉浦地域医療振興賞」の第5回の募集・贈呈と第4回助成の報告会を実施します。

(2) 調査、研究事業（公2）

地域医療の振興に係る社会実験への助成、参画（定款第4条第1項第2号）

① 都市型の看護介護医療等連携研究会

～認知症の人がより良く生きていける社会の実現を目指す～

「認知症」をテーマとして研究会を年6回開催いたします。

② 医薬品適正使用協働研究会(老年薬学研究会)

多職種が協働して医薬品適正使用推進を考える研究会を継続的に年6回開催いたします。

③ 愛知県地域再生・まちづくり研究会

愛知県地域再生・まちづくり研究会を年10回開催いたします。

④ 健康寿命延伸・介護予防研究会

70歳以降に要介護状態になることなく、可能な限り長く自立して生きていくために必要な予防について研究します。9月から継続的に開始し、本年度2回開催いたします。

(3) 講座、セミナー事業（一般人対象）（公3）

その他前条の目的を達成するために必要な事業（定款第4条第1項第6号）

① 「健康増進セミナー」の継続開催

「健康増進セミナー」を継続します。

昨年度同様に、東名阪の主要都市において年間10回開催します。

② 「認知症フォーラム」の共催

(4) 講座、セミナー事業（専門家対象）（公4）

医師、薬剤師、看護師等の医療従事者及び介護福祉従事者の育成に対する事業（定款第4条第1項第3号）

「地域包括ケアを担う薬剤師の為のインターネット研修」を継続して実施いたします。

2. 事業計画の詳細

(1) 助成、褒賞事業

地域医療の振興に関わる活動等に対する助成・褒賞(定款第4条第1項第1号)

A. 第5回杉浦地域医療振興助成を下記要領で募集します

助成の対象	地域医療振興の分野で、優れた活動や研究を行っている個人・団体に対して、より有意義な活動や研究の成果を期待して助成金を付与する。
助成の内容	「杉浦地域医療振興助成」として個人・団体に対して各300万円を上限として総額2,000万円を助成。 助成金交付日 2016年6月1日までに交付。
募集、選考等	ホームページ、学会、特定団体及び専門誌、業界紙を利用して候補を募集し、選考委員会で決定。 募集期間 2016年1月1日～ 2016年2月29日
その他	2016年7月12日に贈呈式と前年度の成果発表を実施。

B. 第5回杉浦地域医療振興賞を下記要領で募集します

褒賞の対象	地域医療振興の分野で、顕著な業績をあげ、継続して活躍中の個人・団体。
褒賞の内容	「杉浦地域医療振興賞」として個人・団体を褒賞。 正賞 記念品、副賞 金200万円を上限として、総額1,000万円
募集、選考等	ホームページで公募及び諮問委員からの推薦をいただき、審査委員会で決定。 募集期間 2015年10月1日～2015年12月31日
その他	2016年7月12日に授与式を実施。 「杉浦地域医療振興助成」の贈呈式と同時に実施する。

C. 助成・褒賞の共通費用

助成・褒賞に係る募集費用、選考委員会・審査委員会経費、表彰式、内容の公表等の費用を以下の通り計上します。

予算 821.6万円

(内訳)

(単位：円)

募集費用	100,000
贈呈式費用	2,911,000
受賞者交通費	600,000
論文集制作費	1,500,000
審査委員会費用	910,000
選考委員会費用	2,180,000
その他	15,000
計	8,216,000

(2) 調査、研究事業

地域医療の振興に係る社会実験への助成、参画(定款第4条第1項第2号)

A. 都市型の看護介護医療等連携研究会

「認知症」をテーマとした研究会を継続開催します。

予算 452.7万円

(内訳)

(単位：円)

		計	単価	回数
会議費用	会場費	1,560,000	260,000	6
	採録費	480,000	80,000	6
印刷製本費	資料印刷	12,000	2,000	6
旅費交通費	研究会員	1,680,000	280,000	6
諸謝金		780,000	130,000	6
通信運搬費		15,000	2,500	6
計		4,527,000		

B. 医薬品適正使用協働研究会

医薬品適正使用協働研究会を継続開催します。地域包括ケアの中で、医薬品適正使用の観点から、チーム医療における協働を進めることを目的といたします。

予算 398.7万円

(内訳)

(単位：円)

		計	単価	回数
会議費用		1,560,000	260,000	6
印刷製本費	資料印刷	12,000	2,000	6
	映像撮影費	300,000	50,000	6
旅費交通費	研究会員	1,320,000	220,000	6
諸謝金		780,000	130,000	6
通信運搬費		15,000	2,500	6
計		3,987,000		

C. 愛知県地域再生・まちづくり研究会

愛知県地域再生・まちづくり研究会を継続開催します。

人口急減・超高齢化という大きな課題に対し地域がそれぞれの特徴を活かした自律的で持続的な社会を再生できる地域、まちをつくることが望まれています。しかし、現在多くの課題が湧き上がっています。研究会では、可能な限り住み慣れた地域で生活を継続することができる包括的な体制の構築を目指します。

予算 724.5万円

(内訳)

(単位：円)

		計	単価	回数
告知費用	公開シンポジウム	500,000	500,000	1
会議費用	会場費	300,000	30,000	10
	公開シンポジウム	1,500,000	1,500,000	1
	懇親会費	500,000	50,000	10
印刷製本費	資料印刷	20,000	2,000	10
	報告集製作費	1,000,000	1,000,000	1
旅費交通費	研究会員	1,500,000	150,000	10
諸謝金		1,900,000	190,000	10
通信運搬費		25,000	2,500	10
計		7,245,000		

D. 健康寿命延伸・介護予防研究会

70歳以降に要介護状態になることなく、可能な限り長く自立して生きていくために必要な予防について研究する。本年度は9月から隔月で開始し、2回開催いたします。

予算 188.9万円

(内訳)

(単位：円)

		計	単価	回数
会議費用	会場費	520,000	260,000	2
	採録費	200,000	100,000	2
印刷製本費	資料印刷	4,000	2,000	2
	報告集作成	400,000	200,000	2
旅費交通費	研究会員	560,000	280,000	2
諸謝金		200,000	100,000	2
通信運搬費		5,000	2,500	2
計		1,889,000		

(3) 講座、セミナー事業（一般人対象）

その他財団の目的を達成するために必要な事業（定款第4条第1項第6号）

A. 「健康増進セミナー」の開催

前年度より継続して、東名阪の主要都市において年間に10回開催します。

予算 715.992万円

(内訳)

(単位：円)

	計	単価	回数/台数
超音波骨密度測定装置	4,809,920	1,202,480	4
講師料	2,000,000	200,000	10
講師交通費	300,000	30,000	10
雑費	50,000	5000	10
計	7,159,920		

- B. 「第3回認知症医療介護推進フォーラム」共催
第1回愛知、第2回東京で実施した掲題共催を継続します。(第3回は、京都で実施)
予算 400万円
- C. 公益財団法人 日米医学医療交流財団への寄附
予算 50万円
- D. その他の寄附 100万円
日本老年薬学会、日本応用老年学会の賛助会員(各10万円)など

(4) 講座、セミナー事業(専門家対象)

医師、薬剤師、看護師等の医療従事者及び介護福祉従事者の育成に対する事業(定款第4条第1項第3号)

地域包括ケアを担う薬剤師を育成し、医師、看護師、その他スタッフとの密接な連携のもとに地域医療における療養環境の充実に貢献することを目的とします。

地域包括ケアを担う薬剤師の為のインターネット研修

予算 187.2万円(会費収入予算146.4万円)

※日本薬剤師研修センターのインターネット研修実施機関登録に続き、健康サポート薬局研修実施期間の第三者確認(日本薬学会)を受ける予定です。
(内訳) (単位:円)

	計	単価	
講師代	300,000	50,000	6人
撮影編集	300,000	50,000	6回
日本薬剤師研修センター認定費支出	360,000	30,000	12講義
郵送費	48,000	240	200名
ソフトウェア購入	864,000	864,000	1式
計	1,872,000		

(5) 公益目的事業に共通する費用

- A. 公益目的事業の活動をまとめた報告書の作成
予算 85万円
- B. 公益目的事業の実施に係るスタッフの旅費交通費
予算 100万円

3. 事務局の活動費

(1) パンフレット、ホームページのメンテナンス費用

予算 168.14万円

(内訳) HP運営費 87万円

パンフレット等 81.14万円

(2) 評議員会、理事会の開催費用

評議員会を3月、理事会を3月と12月に名古屋で、7月に助成・褒賞の表彰式に
合わせて評議員会と理事会を東京で開催。

予算 488.55万円

(内訳) 評議員会 204.5万円

理事会 284.05万円

(3) その他(事務局人件費、旅費交通費、通信費、事務所賃料等)

予算 1,607.2万円

修正後	修正前
<p>P.5 D. その他の寄附 予算 100万円 日本老年薬学会、日本応用老年学会の賛助会員（各10万円）</p>	<p>D. その他の寄附 予算 400万円 （300万円減少）</p>
<p><u>P.5</u> <u>地域包括ケアを担う薬剤師の為のインターネット研修</u> <u>181万円（会費収入予算146.4万円）</u> <u>ソフトウェア購入予算 86.4万円</u> <u>※日本薬剤師研修センターのインターネット研修実施機関登録に続き、健康サポート薬局研修実施期間の第三者確認（日本薬学会）を受ける予定</u></p>	<p><u>P.6</u> <u>地域包括ケアを担う薬剤師の為のインターネット研修</u> <u>予算 100.8万円（会費収入予算60万円）</u> <u>（86.4万円増額しますが、会費収入の増額で賄います。）</u></p>
<p>P.5 A. 公益目的事業の活動をまとめた報告書の作成 予算 85万円</p>	<p>P.5 A. 公益目的事業の活動をまとめた報告書の作成 予算 500万円 （415万円減少）</p>
<p style="text-align: center;">総予算 94,884,820円</p>	<p style="text-align: center;">総予算 92,064,400円</p>

(注) 予算数字は収支予算ベースです。